

【平成21年度 三重県農村青少年プロジェクト・意見発表会開催】

12月18日（金）に、松阪市嬉野にある三重県農業大学校の大教室において、「平成21年度三重県農村青少年プロジェクト・意見発表会」が開催されました。農村青少年22名、関係者17名が集まり、5名の青少年の発表に耳を傾けました。

発表は、プロジェクト発表として、四日市地区の茶農家の本郷さん、鈴亀地区の茶農家の本郷さんの2名が、意見発表として、伊勢志摩地区のカンキツ農家の溝口さん、伊賀地区で梨栽培をしている末廣さん、紀州地区でウメを栽培する井上さんの3名が行いました。

プロジェクト発表は、日頃の農業経営などを題材に、自ら創意工夫した研究活動を選定し、その活動について、動機、目的、改善方法や工夫、実施した成果及び考察、今後の課題、地域への波及性等をまとめたものを発表するものです。

意見発表は、日頃の営農や生活、地域活動などについて、自らの体験を通じて得られた意見や農業の将来へ向けた提言等について発表するものです。

四日市地区の本郷さんは、経営する茶園における改植の取組について、将来の経営改善につなげる意気込みを丁寧に説明しました。鈴亀地区の本郷さんは、地区の青少年クラブで取り組んだ「芋ほり体験」のアンケート結果について、グラフを交えながら紹介しました。また、伊勢志摩地区の溝口さんは、カンキツ類の直販を行うなかで、顧客に笑顔で語りかけることの大切さについて、素直に表現しました。伊賀地区の末廣さんは、梨栽培の世界に飛び込み、梨栽培の組合や地域の方との関わりを紹介しながら、来年からは経営者となる意気込みを宣言しました。紀州地区の井上さんは、新規就農した経緯を説明しつつ、地域農業を守り伝える想いをじっくりと語りました。

審査の結果、知事賞には紀州地区の井上さん、三重県農林水産支援センター理事長賞には四日市地区の本郷さん、三重県農村青少年クラブ連絡協議会長賞には伊賀地区の末廣さんが選ばれました。知事賞を受賞した井上さんと、三重県農林水産支援センター理事長賞を受賞した本郷さんには、1月27日に岐阜県で開催される「東海ブロック農村青少年会議」において、三重県代表として発表を行っていただきます。今回の発表内容をさらにブラッシュアップして、いっそう素晴らしい発表となることを期待しています。



(発表会の様子)



(会場の様子)